

臨床研究に関する情報公開

福島県立医科大学整形外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 28 年 9 月 福島県立医科大学医学部整形外科学講座 教授 紺野 慎一

【研究課題名】 モスアイフィルムの殺菌効果の検討

【研究期間】 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月

【研究の意義・目的】 感染予防や感染拡大防止のために、殺菌や抗菌作用を期待してさまざまな方法が実施されています。抗菌作用のある布、壁材など多くの日常用品にも応用されています。殺菌方法には、温度、圧力、薬理作用などを用いて、細菌やウイルスなどの組織を破壊することで、生存不可能な環境をつくり効果を発揮します。近年、ナノ突起構造には、物理的に殺菌作用があることが着目されています。本研究の目的は、ナノ突起構造をもつモスアイフィルムの殺菌効果を検証することです。この構造を有する材料で、殺菌効果が得られれば、薬剤を使用しないことから、利用者の安全面に対応することができ、病院、学校、保育園などの公共施設をはじめ家庭内での使用など、不特定多数の人々に使用される物品やトイレ内の清浄度の向上のために、汎用性の高い材料となる可能性があります。

【研究の方法】

不特定多数の人が利用する場所の代表として、病院と学内のトイレ内の手洗いシンクと周辺、および学内職員が使用する電話機の受話器を選定します。手洗いシンク周辺と受話器にフィルムを貼付し、1 時間後と 6 時間後にフィルム表面から細菌を採取し、培養をすることで細菌数を計測します。手洗いシンクは、手洗いをした水が付着しますが、利用者が直接フィルム接触することはありません。受話器に貼付したフィルムには、電話対応時に接触する機会がありますが、本フィルムは、接触による皮膚への刺激検査 (ISO) を実施し、皮膚への刺激性は無いことを実証済みです (アメリカンプレクリニカルサービス、2016 年 8 月 17 日最終報告)。電話機毎の使用頻度を測定するために、電話機のみが映るようにビデオ撮影は行いますが、個人が特定できる情報は撮影しません。トイレの手洗いシンクは、使用頻度を測定しませんので、ビデオは設置しません。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	所属	福島県立医科大学医学部整形外科学講座、教授、紺野 慎一
主任研究者	所属	福島県立医科大学医学部整形外科学講座、教授、紺野 慎一
研究分担者	所属	福島県立医科大学医学部微生物学講座、教授、錫谷 達夫
〃	所属	福島県立医科大学医学部実験動物研究施設、特任教授、関口 美穂
〃	所属	シャープ株式会社ディスプレイデバイスカンパニー開発センター箕浦 潔
〃	所属	シャープ株式会社 同上 山田 美穂
〃	所属	シャープ株式会社 同上 中松健一郎
〃	所属	シャープ株式会社 同上 溝口 貴士

【他の機関等への試料等の提供について】 ありません。

【研究者が保有する個人情報について】 個人が特定される情報は、一切取得しません。

【本研究に関する問合せ先】

○ 研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学医学部整形外科学講座 担当 関口美穂

電話：024-547-1276 Fax：024-548-5505 E-mail：fortho@fmu.ac.jp

○ 個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学総務課大学管理係

電話：024-547-1007 Fax：024-547-1995

○ 苦情の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学企画財務課 研究支援担当

電話：024-547-1825 Fax：024-547-1991 E-mail：rs@fmu.ac.jp